

# もくじ

第1回	説明文・論説文(1)／日本の都道府県(東日本)	4
	基話題(1)／作文の書き方(1)	4
	基日本の都道府県(東日本)	15
第2回	説明文・論説文(2)／対話を読んでその特徴を書く	16
	基話題(2)／主語・述語	16
	適対話を読んでその特徴を書く	27
第3回	物語文(1)／日本の都道府県(西日本)	28
	基あらすじ・場面・登場人物／作文の書き方(2)	28
	基日本の都道府県(西日本)	39
第4回	随筆文(1)／特色のある都道府県のように	40
	基出来事／ことわざ・慣用句	40
	適特色のある都道府県のように	51
第5回 総合		
	第1回～第4回のまとめ 国語編	52
	第1回～第4回のまとめ 社会編	63
第6回	説明文・論説文(3)／日本の国土(地形)	64
	基指示語・接続語(1)／作文の書き方(3)	64
	基日本の国土(地形)	75
第7回	説明文・論説文(4)／資料を読んでその特徴を書く(1)	76
	基指示語・接続語(2)／修飾語	76
	適資料を読んでその特徴を書く(1)	87
第8回	物語文(2)／日本の国土(気候)	88
	基心情／作文の書き方(4)	88
	基日本の国土(気候)	99
第9回	随筆文(2)／特色のある土地のくらし	100
	基筆者の感想／擬声語・擬態語	100
	適特色のある土地のくらし	111
第10回 総合		
	第6回～第9回のまとめ 国語編	112
	第6回～第9回のまとめ 社会編	123

第11回 説明文・論説文(5)／日本の農業(米づくり)

基 段落・要点(1)／作文(1) ……………

基 日本の農業(米づくり) ……………

135 124

第12回

説明文・論説文(6)／資料を読んでその特徴を書く(2)

基 段落・要点(2)／文の基本型 ……………

適 資料を読んでその特徴を書く(2) ……………

147 136

第13回

物語文(3)／日本の農業(野菜・果物・畜産物)

基 表現の工夫／作文(2) ……………

基 日本の農業(野菜・果物・畜産物) ……………

159 148

第14回

随筆文(3)／各農業に適した地形・気候

基 時間の流れ／類義語・対義語 ……………

適 各農業に適した地形・気候 ……………

171 160

第15回 総合

第11回～第14回のまとめ 国語編 ……………

第11回～第14回のまとめ 社会編 ……………

183 172

第16回 説明文・論説文(7)／日本の水産業

基 事実と意見(1)／作文(3) ……………

基 日本の水産業 ……………

195 184

第17回

説明文・論説文(8)／資料を読んでその内容を整理する

基 事実と意見(2)／文章の型 ……………

適 資料や会話を読んでその内容を整理する ……………

207 196

第18回

物語文(4)／日本の食料生産

基 物語文の主題／作文(4) ……………

基 日本の食料生産 ……………

219 208

第19回

随筆文(4)／食料生産量のうっすり変わり

基 随筆文の主題／故事成語・四字熟語 ……………

適 食料生産量のうっすり変わり ……………

231 220

第20回 総合

第16回～第19回のまとめ 国語編 ……………

第16回～第19回のまとめ 社会編 ……………

243 232



心情 / 作文の書き方(4)

例題

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

--	--	--	--	--

20 15 10 5

□(1) ミキちゃんは、どんな子ですか。最もふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えましょう。

- ア 優等生ゆうとうせいで、近寄りたがたい霧囲気きりこいぎの子。
- イ どこにでもいるような、ふつうの子。
- ウ みんなより大人びていて、ツンとしている子。
- エ 欠点とよべるところが、特に見当たらない子。

[ ]

□(2) — 線①「ミキちゃんが……小さな花」とありますが、このたとえから、「わたし」はミキちゃんと自分を、それぞれどんな子だと思っていることがわかりますか。「ミキちゃんは、わたしは。」の形で、「目立つ」という言葉を使い、二十五字以内で書きましょう。

--	--	--	--

□(3) [ ]にあてはまる言葉を、文章中から五字で書きぬきましょう。

--	--	--	--



演習問題

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

50 45 40 35 30 25 90

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

□(1) — 線①「手をふり返し」とありますが、このときの「わたし」の気持ちとしてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えましょう。

- ア 安心している
- イ かなり緊張きんちやうしている
- ウ 感謝かんしゃしている
- エ 少し気後れきわくしている

□(2) — 線②「目を閉じてみた」のは、なんのためですか。「目の不自由な人」という言葉を使って、四十字以内で書きましょう。


□(3) — 線③「にんまりと」したときの気持ちを、次の言葉に続けて、「〜とわかって、〜気持ち。」の形で書きましょう。  
こつち側からは「カッコ」、向こう側からは「カカッコ」という声が流れているのは、

**2** 次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

多根島たねは、宇宙関連施設がある自然豊かな島だ。小学六年生の天羽あま駆もうかけるは一年間親元をはなれ、宇宙遊学生として多根島にやってきた。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。



作文 作文の書き方(4)

！ポイント

作文で書く内容は、全体がつながっていないくなくてはなりません。全体がつながっていないと、まとまりのない文章となり、相手に書きたいことが伝わりません。

1 自分の書きたいことと理由や考えたことがつながっているかを確かめる。

・理由や、何かの体験や資料から考えたことを書くときには、自分の中だけでわかっていて、書くことをとばしてしまっていることがないか、自分のことを知らない人が読んでもちちんとわかってもらえるかどうかを考えましょう。

2 つながっていることを示すための言葉を使う。

・理由を書くときの例  
 「○○に賛成だ。なぜなら○○からだ。」  
 ・体験や資料から考えたことを書くときの例  
 「○○を体験した。このことから○○と考えた。」  
 ↓「なぜなら」「このことから」「よって」などを使うと、文章全体のつながりははっきりします。

3 つながりがわかりにくい場合は、事実をはさむ。

・資料から読み取ったことと、そこから考えた結論とのつながりがわかりにくいときには、「○○は□□である。」と結論へとつなげる事実をはさむとつながりがわかりやすくなります。  
 ↓×「写真からりんごは赤いとわかる。よってりんごは明るい色の果物だと考えられる。」  
 ○「写真からりんごは赤いとわかる。赤は明るい色である。よってりんごは明るい色の果物だと考えられる。」

問題 下の表は、いちばん好きな本の種類

は何かを、クラスで調べたアンケート結果です。これを見て、わかることとそこから考えたことを百二十字以内で書きましょう。(解答用紙は、別紙のものを使いましょう。)

順位	本の種類	人数
1位	ミステリー	13人
2位	伝記	9人
3位	ファンタジー	6人
4位	れん愛小説	4人
5位	自然科学	3人

手順① アンケート結果を見てわかることを一つ書きましょう。

手順② 手順①で書いたことから考えたことを書きましょう。

原稿用紙

【原稿用紙の使い方・ポイント④】

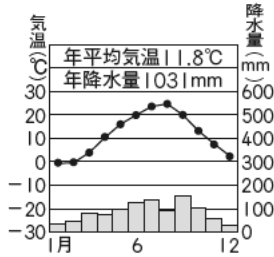
●かぎかっこ(「」、『』、二重かぎ(『』)の使い方  
 ・かぎかっこ(「」、『』)は、会話文のほか、ある語句を特に強調したい場合などにも使います。  
 ・二重かぎ(『』)は、かぎかっこの中でさらに「かぎかっこ」を使う必要がある場合や、書名などを示す場合に使います。



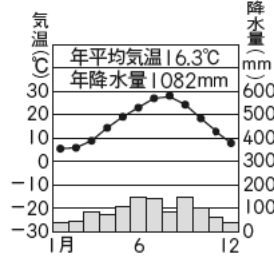
② りえこさんは、地域と気候についてまとめ、資料を用意しました。これについて、次の問いに答えましょう。

◎ りえこさんは、長野県松本市と香川県高松市の気候について調べました。資料1は、松本市と高松市の気温と降水量を表したグラフで、資料2は季節風と山地の関係を表した図です。

資料1 松本市



高松市



(平成31年版「理科年表」)

資料2



□(1) 松本市と高松市に共通する気候の特徴を、資料1を参考にして、かんたんに書きなさい。

( )

□(2) (1)の理由を、資料2を参考にして、かんたんに書きなさい。

( )

◎ りえこさんは、日本各地で桜がさき始める時期について調べ、資料3の地図をつくりました。また、資料4は、青森市と福岡市の平均気温を月別に表したものです。

資料4

(単位 °C)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
青森	-1.2	-0.7	2.4	8.3	13.3	17.2	21.1	23.3	19.3	13.1	6.8	1.5
福岡	6.6	7.4	10.4	15.1	19.4	23.0	27.2	28.1	24.4	19.2	13.8	8.9

(平成31年版「理科年表」)

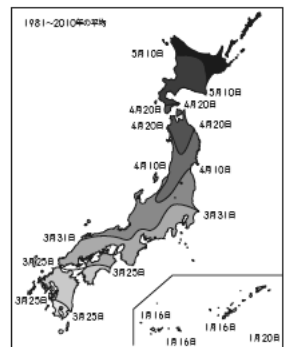
□(3) 東京で桜がさき始める時期として正しいものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 3月25日～3月31日の間
- イ 3月31日～4月10日の間
- ウ 4月10日～4月20日の間
- エ 4月20日～5月10日の間

□(4) 日本各地で桜がさき始める時期にはちがいがあるのはなぜですか。資料4を参考にして、かんたんに書きなさい。

( )

資料3



(気象庁資料)

## 演習問題 B

1 かつみさんとさゆりさんは、日本の<sup>きこう</sup>気候や地形とくらしについて話をしています。次の会話をを読んで、あとの問いに答えましょう。

かつみ：「日本は南北に細長いので、いろいろな気候の特色があるね。」

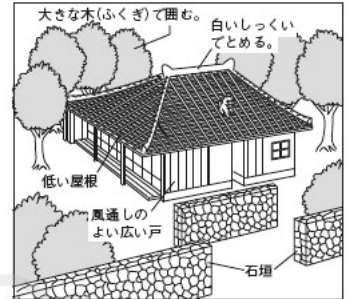
さゆり：「気候によって、さまざまな家のくふうをしているわね。」

かつみ：「ぼくは夏休みに沖縄に行ったんだけど、資料1のような沖縄の家には暑い気候や台風の被害を防ぐくふうがしてあったよ。」

さゆり：「気候だけではなくて、地形に合わせてくふうもしているわよ。たとえば海岸近くの家では松を植えたり、洪水が<sup>こうずい</sup>おこりやすいところでは家を高い位置に建てたりするくふうもしているわ。」

かつみ：「そういえば、沖縄では、資料2のような屋根にタンクが置かれた家をよく見かけたんだけど、あのタンクも沖縄の地形に合わせてくふうだと聞いたよ。いつの時代も、そしてどこでも、人々は安全でよりよい生活環境を求めて、くふうを重ねながらくらししているんだね。」

資料1



資料2



□(1) 沖縄では暑さや台風の被害を防ぐために、どのようなくふうをしていますか。資料1を参考にして、かんたんに書きなさい。

( )

□(2) 海岸に近い家で松を何本も植えるのは何のためですか。かんたんに書きなさい。

( )

□(3) 沖縄の家の屋根にタンクが置かれているのはなぜですか。資料3を参考にして、かんたんに書きなさい。

( )

資料3 沖縄本島と本土のおもな川

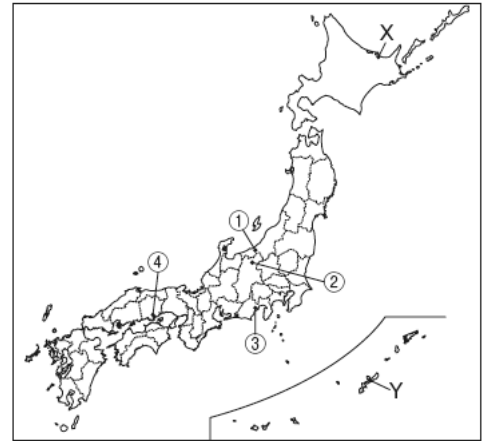
	河川名	流域面積	川の長さ
沖縄本島	比謝川	49km <sup>2</sup>	17km
	安波川	42km <sup>2</sup>	11km
本土	利根川	16,840km <sup>2</sup>	322km
	石狩川	14,330km <sup>2</sup>	268km

(沖縄県企業局ホームページなど)

2 日本の地域と気候について、次の問いに答えましょう。

□(1) 日本の気候について述べた次のⅠ、Ⅱの文の正誤の組み合わせとして正しいものをあとのア～エから一つ選び、記号で答えなさい。( )

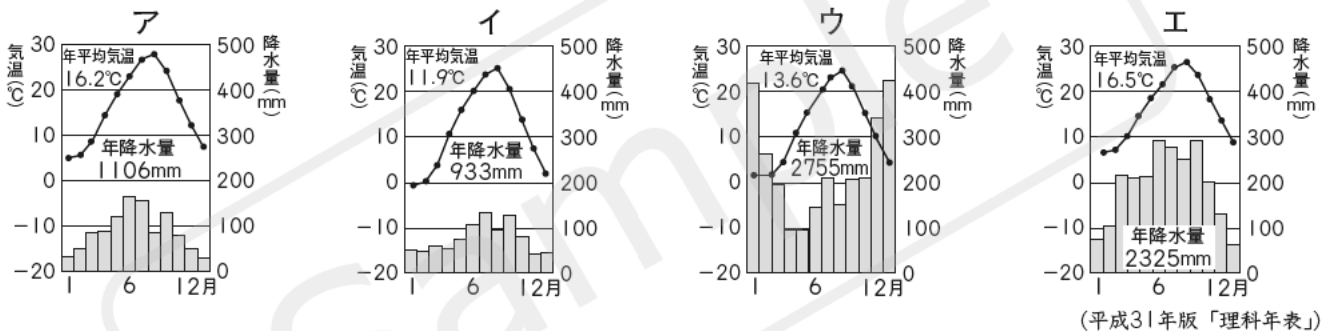
Ⅰ 日本列島は、すべて温帯の気候に属する。  
 Ⅱ 海に面しているすべての地域は、一年を通して降水量が多い。



- ア Ⅰ－正しい Ⅱ－正しい
- イ Ⅰ－正しい Ⅱ－正しくない
- ウ Ⅰ－正しくない Ⅱ－正しい
- エ Ⅰ－正しくない Ⅱ－正しくない

□(2) 地図中の①～④の都市の気温と降水量を表したグラフとして正しいものを次のア～エから一つずつ選び、記号で答えなさい。

①( ) ②( ) ③( ) ④( )



(3) 資料は、右上の図中のX、Yの都市の平均気温と降水量を月別に表したものです。これについて、あとの問いに答えなさい。

資料

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
X	気温(°C)	-5.5	-6.0	-1.9	4.4	9.4	13.1	17.1	19.6	16.3	10.6	3.7	-2.4
	降水量(mm)	54.5	36.0	43.5	52.1	61.6	53.5	87.4	101.0	108.2	70.3	60.0	59.4
Y	気温(°C)	14.8	15.2	17.1	19.8	22.7	26.0	28.7	28.4	26.8	23.7	20.2	16.5
	降水量(mm)	200.0	162.0	233.2	229.0	258.5	410.3	202.4	268.2	302.7	234.5	180.0	156.9

(平成31年版「理科年表」)

- ① Xの都市の平均気温が0度を下回る月は何か月ありますか。( ) か月)
- ② X、Yの都市の4月の気温差は何度ありますか。( ) 度)
- ③ Yの都市はXの都市にくらべて、特に6月の降水量が多いのはなぜですか。この時期のYの都市の気候に着目してかんたんに書きなさい。

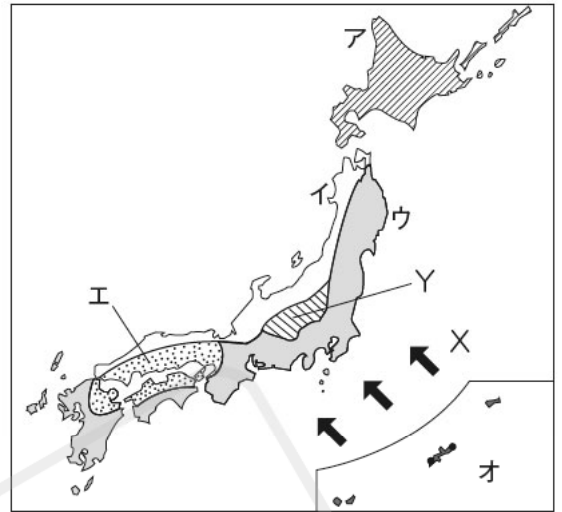
( )

演習問題 A

1 日本の気候について、次の問いに答えましょう。

(1) 次の気候の特色にあてはまる地域を地図中のア～オから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 冬に雪が多く降り、日本有数の豪雪地帯になっているところもある。 ( )
- ② 一年を通して温暖で、雨が少ないために水不足になりやすい。 ( )
- ③ 一年中気温が高く、夏から秋にかけて梅雨や台風の影響で雨が多い。 ( )
- ④ 夏から秋にかけて雨が多く降るが、冬は晴れる日が多くなる。 ( )
- ⑤ 夏と冬の気温差が大きく、冬は月平均気温が0℃を下まわる。 ( )



(2) 地図中のXは、ある季節にふく風の向きを表しています。

- ① Xで表した風の何を何といいますか。 ( )
- ② Xで表した風についてまとめた次の文中の [ A ] にあてはまる季節をあとのア～エから一つ選び、記号で答えなさい。また、 [ B ] にあてはまる方角を八方位で書きなさい。  
A ( ) B ( )

Xは、 [ A ] に [ B ] の方角からふく風で、この季節の太平洋側の降水量に大きな影響をあたえます。

ア 春 イ 夏 ウ 秋 エ 冬

(3) 地図中のYの地域についてまとめた次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

Yは、一年を通して雨が [ C ] 気候で、夏と冬の気温差が [ D ] もの、夏の気温は比較的すずしいです。この地域には、夏のすずしい気候を生かして、ほかの地域では夏に出荷できない野菜を [ E ] 農業を行っているところがあります。

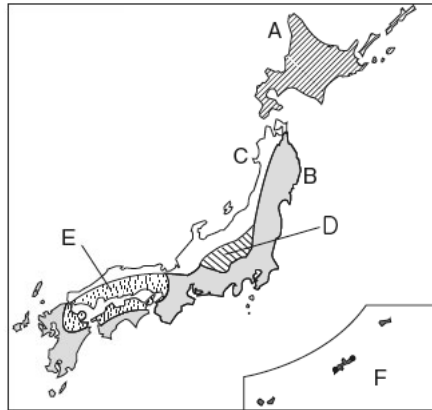
- ① 文中の [ C ] , [ D ] にあてはまる語の組み合わせとして正しいものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。 ( )  
ア C-多い D-大きい イ C-少ない D-大きい  
ウ C-多い D-小さい エ C-少ない D-小さい
- ② 文中の [ E ] にあてはまることばをかんたんに書きなさい。

( )

# 基本問題

次の( )にあてはまる語を答えましょう。

□① 右の図のAの気候帯は、夏と冬の気温差が大きい( )です。



(① )

□② 右の図のBの気候は、( )の気温が高く、降水量が多いのが特徴です。

(② )

□③ 右の図のCの気候は、( )の降水量が多いのが特徴です。

(③ )

□④ 右上の図のDの気候は、夏と冬、昼と夜の気温差が( )ことと、一年を通して降水量が少ないのが特徴です。

(④ )

□⑤ 右上の図のEの地域は、一年を通して降水量が少ないことから、水不足に備えて古くから( )が作られてきました。

(⑤ )

□⑥ 右上の図のFの気候は、( )に分類されることもあります。

(⑥ )

□⑦ 6月から7月にかけてくもりや雨の日が続く時期を( )といいます。

(⑦ )

□⑧ 日本列島の中でも、( )は⑦の影響をほとんど受けません。

(⑧ )

□⑨ 夏から秋にかけて、日本列島をおそう強い雨や風のことを( )といいます。

(⑨ )

□⑩ 日本の都道府県のうち、⑨が接近する回数が最も多いのは( )です。

(⑩ )

□⑪ 季節によって向きが変わる風を( )といいます。

(⑪ )

□⑫ 冬にふく⑪を表した右の図中にXで示した海洋は( )です。



(⑫ )

# 日本の国土（気候）

**→テーマ** 日本は、南北に長く、地形にもちがいがあるため、地域によって気候の特色がことなります。それぞれの地域の気候の特色を学びます。

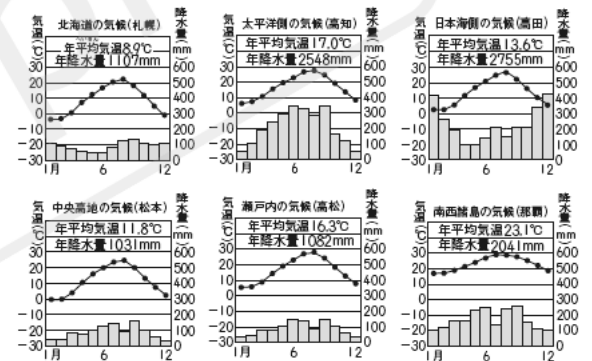
## ① 日本各地の気候

- (1) 北海道の気候
  - ・夏と冬の気温差が大きい冷帯(亜寒帯)の気候。
  - ・1年を通して雨が少なく、冬の寒さがきびしい。
- (2) 太平洋側の気候
  - ・夏に気温が高くなり、雨が多く降る。
  - ・冬は晴れた日が多い。
- (3) 日本海側の気候
  - ・冬に雪が多く降る。
  - ・夏は晴れた日が多く、気温も高くなる。
- (4) 中央高地の気候
  - ・夏と冬、昼と夜の気温差が大きい。
  - ・一年を通して雨が少ない。
- (5) 瀬戸内の気候
  - ・一年を通して温暖で、雨が少ない。
  - 水不足に備えて、多くのため池がえられる。
- (6) 南西諸島の気候
  - ・一年を通して気温が高く、雨が多く降る。
  - ・亜熱帯の気候に分類されることもある。

## ① 日本の気候



## ② 代表的な都市の雨温図



(平成31年版「理科年表」)

## ② 日本の特徴的な気候

- (1) 梅雨
  - ・6月から7月にかけて、くもりや雨の日が続く時期のこと。
  - ・北海道は梅雨の影響をほとんど受けない。
- (2) 台風
  - ・夏から秋にかけて、日本列島をおそう強い雨と風のこと。
  - ・くらしや農業に必要な水をもたらすが、大雨や洪水の被害をもたらすこともある。
  - ・沖縄県へ接近する回数が最も多い。
- (3) 季節風
  - ・季節によって決まった方向からふく風のこと。
  - ・日本では、夏には南東からふき、冬には北西からふく。

## ③ 季節風のふきかた

